

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 熊倉教室

保護者等数(児童数) 15 回収数 11 割合 73 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9件	1件	1件		・子どもは言葉体が大きい子もいる為、スペースが十分とは言えない。・学習スペース、他活動スペース、個室があり、子どもがやりたいことが出来るよう区切られている。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9件	2件			・ほとんどの職員が保育士であると同っている	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4件	2件	1件	4件	・スロープ、手すりの設置はない。 ・スロープ、手すりはないが、段差のない施設だと思ふ。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10件	1件			・家庭の状況やニーズに応じたサービス計画表を計画していただいている。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	8件	2件	1件		・曜日固定でレクリエーションが決まっている。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2件	4件	4件	1件	・交流等活動の報告はない。 ・学校あるので不要と思われる。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10件	1件			・わかりやすく説明していただいた。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11件				・送迎時などに日頃の話を伝え合っている。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10件	1件			・帰りの送迎の際によく相談に乗ってくれたり、聞いてくれている。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1件	3件	5件	2件	・他保護者との交流はない。 ・参加したことない(必要ない)	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7件	4件			・すぐに動いてくれている	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10件	1件			・親しみやすい雰囲気、話し合いがしやすい。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10件	1件			・毎月お便りで知らせてくれている。	
14 個人情報に十分注意しているか	10件	1件			・十分に注意していただいている。		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4件	4件			・どのようなマニュアル内容であるのかを知らない	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6件	3件		2件	・定期的に避難訓練をしてくれている。	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11件				・毎回楽しみにしている。	
	18 事業所の支援に満足しているか	11件				・まだ初めて間もないため、まだまだ分からないことも多いですが、よろしく願いいたします。	

0 0 0 0

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 熊倉教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5件		パーテーションなどで過ごしやすい環境づくりをしている。	
	2	職員の配置数は適切である	5件		利用人数に応じて、職員の配置数をしっかり検討している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5件		スロープ手洗い場の高さに改善の必要性あり ハード面での対応が難しい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5件		日々その繰り返しを行いながら、支援の改善に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5件		保護者から受けた意見を、取り入れながら支援の見直しをしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5件		インスタグラム等を活用しながら、事業所の様子を公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5件		外部から得た評価をすぐに周知し、取り入れながら進めている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5件		月に一度職員会議を開き、職員同士で意見を出し合いながら資質向上に努めている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5件		日々の支援やモニタリングを通して、支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5件		アセスメントツールを使用しながら進めている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5件		内容の平等化をしている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5件		子どもの興味関心を中心に支援に繋がるようなプログラムを日々取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5件		週間の予定を決め、子どもたちや職員の見える場所に置き、行動しやすいようにしている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5件		固定化しないように個々の支援にあった、支援プログラムを作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5件		その時の人数や時期にあった内容を話し合っ決めている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5件		毎日、その日の振り返りを行いながら次の支援に繋げられるようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5件		支援内容など、その都度記録に残し、より良いものを提供できるように心がけている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5件		保護者の意見はすぐに取り入れ、日々見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5件		しっかりガイドラインに沿った支援を心がけている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5件		出来ている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5件		学校と連携を取り合いながら、下校時刻の確認や、利用者の有無などの共有をしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5件		医療的ケアが必要な子の受け入れが難しい

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5件		連携を取り合いながら、情報を共有することが出来ている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5件		必要に応じて、そのような情報を共有する場を設けている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5件		そのような機会があった際には、積極的に参加し、連携を図っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5件		必要性があれば検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5件		すこやか発達部会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5件		送迎の際などに、子どもの様子を伝えながら、相互理解に努めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	5件		保護者からの相談を受けた際には、話の場を設けて、家族支援プログラムを提供している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5件		資料にまとめながら、保護者の人に伝わりやすいように心がけている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5件		どの職員も保護者と話せる環境を作っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5件		必要性があれば検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5件		その都度それにあつた支援を心がけている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5件		毎月次月の行事予定などを手紙で配布し、情報を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	5件		個人情報になるものは、鍵のかかるロッカーに保管し、取り扱っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5件		日々保護者や子どもとの意思の疎通を図りながら支援をしている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5件		誰でも来やすいような開かれた環境づくりを心がけている。		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5件		事業所内にマニュアルを掲示している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5件			様々なパターンに備え、避難経路を複数考える必要がある
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5件		日々のやりとりを報告しあい、虐待防止の意識を高めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5件		命の危険などがあつた際にのみ、身体拘束を行うことがあることについて、保護者の了承を書面で受けている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5件		アレルギーの把握を全員で行い、誤って提供しないようにしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5件		ヒヤリハットがあつた際には、その都度記入し職員会議で共有し、同じようなことが起こらないように努めている。	